

一般質問 (要旨)

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずぬるものです。

諸派(公明党)

藤浪 清司 議員

公共施設のLED化について

(質問) 2年後に蛍光灯の製造終了が決まっている。公共施設でも多くの施設で蛍光灯を使用しており、計画的にLED化を進めなければならない。計画と予算について、尋ねる。

(答弁) 本市の公共建築物210施設の内、42施設が全面的にLED化されている。市役所本館を例にすると、すでに実施している1階と2階を除いた残りの取り替えに概算で2億円を要する見込み。国の補助金などを可能な限り活用し、計画的にLED化を推進する。

その他の質問 ○事前防災 ○福祉の視点からの交通手段確保



市民の声

藤井 栄治 議員

地域公共交通について

(質問) 子ども議会において質問されているが、公共交通の利便性向上とデマンド型交通の導入について本市の取り組みはどうか。

(答弁) 公共交通の利便性向上に向けて、利用者数をコロナ禍前の実績に回復し、今ある公共交通サービスの維持に努める。デマンド型交通は、2地域で実証運行を行っており、運行終了後の評価・検証を通してデマンド型交通が本市に適するのかどうかの検討を行い、市内他地域への展開が可能かどうかも含めて総合的に判断する。

その他の質問 ○民生委員・児童委員



市民の声

中西 大輔 議員

休日部活の地域移行について

(質問) 休日部活動の地域移行について、生徒のニーズは多様であるから、より広い視点で『多様なこどもの居場所づくり』として議論を進め、市長部局が主体となって取り組むべきだが、市長の考えを問う。

(答弁) 部活の地域移行はこどもの居場所づくりだけを目的とはしないが、抱える問題や取り巻く環境によっては、主体性などを育み社会参画などを促す機会につながることもあり、あらゆる機会を活用し、居場所づくりのための活動が進展するよう取り組む。

その他の質問 ○千代崎海岸の取り組み



新緑風会

加藤 公友 議員

安心して働き、子育てできる環境に向けて

(質問) 放課後児童クラブは、費用、施設、利用時間などさまざまな課題がある。課題解決に向けては、全国で進む学校施設の活用が有効と考えるが、本市の現状と今後について問う。

(答弁) 学校施設の活用には管理責任の明確化など課題はあるが、特別教室などのタイムシェアも含め関係部局などと連携し、学校現場との協議を重ね、まずはモデル的に試行実施に向けて進め、その中でハード・ソフト両面の課題を洗い出し、本格運用へつなげていく。

その他の質問 ○サステナブルなまち鈴鹿を目指して



新緑風会

松葉谷 光由 議員

地域防災について

(質問) 災害発生時に、避難者などがLINEアプリを活用した安否確認や各種防災アプリを使用した情報収集を行うためには、収容避難所へのWi-Fi環境の整備が必要と考えるが、今後の整備について問う。

(答弁) 既に石薬師高校、白子高校および神戸高校でWi-Fi環境が整備されている。本年度末には、本市の40校全ての小中学校の体育館へのWi-Fi環境の拡大を予定していることから、災害時の有効活用を図っていく。

その他の質問 ○樹木管理



諸派
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

学校給食費の値上げについて

(質問) 給食無償化の世論が広がり、県内他市町では国の交付金を活用し、期間限定の無償化または据置きをし、市民負担を減らす努力をしているが、今年度、本市はその交付金を一般財源と入れ換え、来年度の給食費を月額相当額小学校600円・中学校650円値上げする。公費負担せず値上げするのは県内で本市のみである。基金に戻した財源を活用し給食費の据置きをすべき。

(答弁) 給食の運営状況・財政状況から据置きは難しく、保護者負担を増額する。

その他の質問 ○市民の地域公共交通 ○インフルエンザワクチン費用の助成

